

2 学年

① 薬学部で行われる研究とは？ 薬学部で学ぶことはどんなこと？

薬に関する成分に関して、医療の倫理について。

② 薬学部や薬学について疑問に思っていることなど、なんでも

どのよう^に 研究^を する^か を 決める^か。

③ 講義ノート

- 新しい薬を作る
 1. 病気の原因を理解
 2. 薬の治療がする 標的と発見
 3. 生命維持の仕組みを理解

< ストレスとは？ >

生体内外からの環境からの圧力。

"生きる" → ストレスに適応すること。

ストレス応答：生命の恒常性維持



細胞レベルでのストレス

ex) メカニカル, 化学的, 物理的, 生体内因, 生物学的
ストレス

老化 適切な活動をしていく (食べれば) 寿命が延びる。

ex) 通常食のネズミ	オス	900日
	メス	1100日

腹8分目のネズミ	オス	1200日
	メス	1300日

< 長い生きた。 >

人類

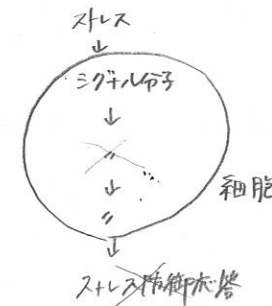
カロリー制限 → 精神的ストレス (ダイエット)

逆に寿命が短くなるかも...

* ① と ②については講義の前には記入しておくようにしましょう。

講義ノート

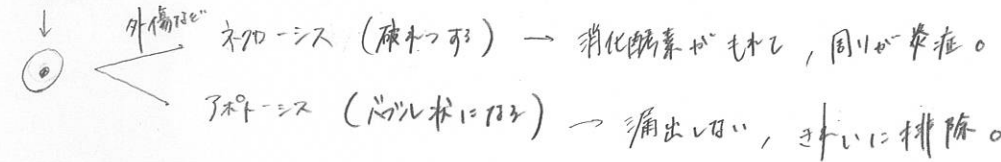
< シグナル伝達 >
= 情報伝達



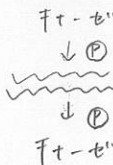
がん → 細胞死 (アポトーシス) を誘導する
シグナル分子の機能低下
増殖刺激に反応するシグナル分子の異常
* アポトーシス → ストレス応答の一つ

シグナル分子の異常 → がん, アレルギー, 喘息, アレルギー, インフルエンザ, 糖尿病, 糖尿病 など...

ストレス



パーセク P:11=酸 感染の強弱 = 活性酵素の強弱



★ 細胞がストレスに適応する仕組みを知る★

ストレス応答の調節 = 疾患の治療

新しい薬を開発したい!

④ 感想、上記の質問・疑問への答え

薬は必ず特定の病気や症状のために飲むものだと思います。松沢先生へ話を聞いて 特定の病気には薬の量、ストレス応答を適切にできるような薬を開発することでがんを始めアレルギーなどの病気には、少量の薬を飲む必要がなくなるのでは無いかと思います。最後には学歴に関係なく相対的なものでないと思います。ありがとうございます。

* このノートは次週の水曜日までに 本田 へ提出してください。後日、講義を担当された先生に提出いたします。

12/14 (木) 提出